

2017年9月15日

東京ミチテラス2017実行委員会事務局

beyond the Tokyo.東京を越える TOKYO へ。

「東京ミチテラス 2017」開催決定！

ニコライ バーグマン演出による「花とひかりのシンフォニー」

- 東京ミチテラス 2017 実行委員会(会長:東京商工会議所専務理事 石田 徹)は、本年12月に、「東京ミチテラス 2017」を開催することを決定いたしました。
- 今年の演出テーマは、「**Celebration!**」(セレブレーション)。新丸ビル開業10周年、丸ビル開業15周年、東京国際フォーラム開館20周年と、東京駅丸の内駅前広場のグランドオープンを街全体で祝福し、平和への願い、未来への希望を発信します。
- 総合演出には、当代随一の人気を誇るフラワーアーティスト、**ニコライ バーグマン**を起用。「**花とひかりのシンフォニー**」と題し、スタイリッシュで上質な雰囲気のある大手町・丸の内・有楽町エリアにふさわしい、花とひかりで彩るアート作品をエリア各所で展開します。
- 行幸通りでは、「**Flower Garden ~花とひかりの饗宴~**」を展開。花とひかりが一体となったフラワーガーデンを創出し、日中と夜間で異なる趣きをお楽しみいただけます。
- 丸の内仲通りでは、「**Flower Avenue ~花とひかりの道~**」を展開。花とひかりを組み合わせたフラワーアート作品を各所に配置します。



※画像は行幸通りのイメージです。

■「東京ミチテラス2017」開催趣旨

東京駅周辺エリアは、「歴史」と「未来」と「文化」が共存する、多様な側面を持った街です。歴史、伝統、文化、学術、ビジネス、先進性がダイナミックに融合する唯一無二の街として、日本と東京を繋ぐ結節点として、また、世界と日本を繋ぐ結節点として、今日も進化を続けています。

同エリアにおいて、年末の光のイベントは、1999年の「東京ミレナリオ」の開催以来、恒例の冬の風物詩となっていますが、今年も、東京・丸の内エリアから、未来を明るく照らしていこう(未知を照らす)という願いをこめ、「東京ミチテラス 2017」を開催いたします。

■「東京ミチテラス2017」実施概要

企画名称： 東京ミチテラス 2017

開催期間： 2017年12月24日(日)～12月28日(木)予定 ※一部は12月15日(金)より開催予定
※開催期間は9月15日現在の予定であり、変更となる場合がございます。変更となりました場合には、速やかにお知らせいたします。

会場： 東京・丸の内エリア

主催： 東京ミチテラス2017 実行委員会

(構成団体) 東京都、千代田区、東京商工会議所、東日本旅客鉄道株式会社、三菱地所株式会社、株式会社東京国際フォーラム、NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、株式会社ジェイアール東日本企画(順不同)

後援： 国土交通省観光庁、東京都、千代田区、公益財団法人東京観光財団、千代田区観光協会(いずれも予定)

特別協賛： 東日本旅客鉄道株式会社、三菱地所株式会社(いずれも予定)

※使用している画像はすべてイメージです。※企画名称や内容は9月15日現在の案であり、変更となる場合があります。

■「東京ミチテラス 2017」演出テーマ

Celebration !

新丸ビル開業 10 周年、丸ビル開業 15 周年、東京国際フォーラム開館 20 周年と、東京駅丸の内駅前広場のグランドオープンをお祝いし、来街者とともに喜びを分かち合う。街全体を花とひかりで祝祭感を演出、平和への願い、未来への希望を発信します。

■「東京ミチテラス 2017」企画概要

【行幸通り】

Flower Garden ～花とひかりの饗宴～

花とひかりが一体となった複数のフラワーアート作品で構成するフラワーガーデンを創出。日中と夜間で趣きの異なる作品をお楽しみいただけます。無数の花で覆われた立体感のあるフォルムのアート作品で、独創的なフラワーガーデンを展開します。夜は花と一体に組み込まれた LED 照明で、一面にひかりの花が咲き誇ります。

(12月24日～28日予定)

【丸の内周辺エリア】

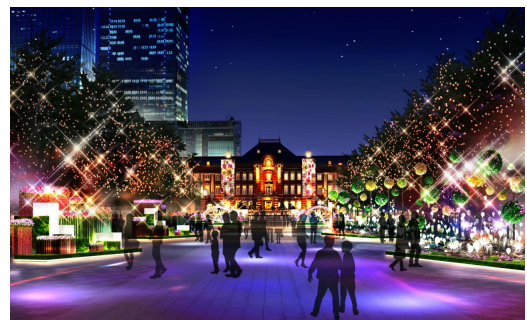
Flower Avenue ～花とひかりの道～

丸の内仲通りのビルのファサード周辺など数箇所に設置した、さまざまな彩りのビッグフラワーボックスが、来訪者に花を添えます。思わず写真を撮り集め、SNS に投稿したくなるようなフォトジェニックなフラワーアートが通りを飾ります。

(12月15日～28日予定)

Floral Art Installation ～花のランドスケープアート～

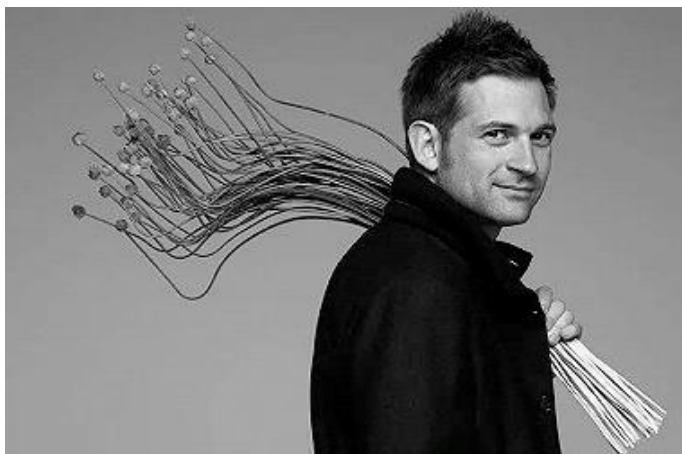
大丸有内のオープン空間などにコンテンポラリーで造形的なフラワーインスタレーション作品を展示し、エリア散策を促進します(12月24日～28日予定)。あわせて、音楽のライブ演奏などの祝祭感を盛り上げるコンテンツを検討します。



※画像はイメージです。

※東京駅丸の内駅舎前での演出については、現在検討中です。

■「東京ミチテラス 2017」総合演出



Nicolai Bergmann(ニコライ バークマン) / フラワーアーティスト

デンマーク・コペンハーゲン出身。日本で最も有名なフラワーアーティストの一人。現代フラワーデザインの代名詞的存在。ヨーロッパスタイルをベースに、北欧のテイストと細部にまでこだわる日本の感性を組み合わせた独自のスタイルをコンセプトとしている。モダンでスタイリッシュなデザインや、印象深いカラーグラデーション、造形的なフォルムなど、ディスプレイという枠を超え、ひとつの芸術作品ともいえる完成度の高いデザインを誇っている。2017年5月にはジュエリーブランド NATUR & NICOLAI BERGMANN を立ち上げ、さらなる活躍の場を広げている。フラワーデザインはもとより、ファッションやデザインの分野で世界有数の企業と共同デザインプロジェクトを手がけている。

■「東京ミチテラス 2017」アドバイザー



谷川じゅんじ JTQ 代表 / スペースコンポーザー

2002年、空間クリエイティブカンパニー・JTQ を設立。“空間をメディアにしたメッセージの伝達”をテーマに、さまざまな商空間開発やコーポレートブランディングを手掛ける。独自の空間開発メソッド「スペースコンポーズ」を提唱、環境と状況の組み合わせによるエクスペリエンスデザインは多方面から注目を集めている。主なプロジェクトとしてパルルーブル宮装飾美術館 Kansei 展、平城遷都 1300 年祭記念薬師寺ひかり絵巻、MEDIA AMBITION TOKYO、GINZA SIX グランドオープニングセレモニーなど。2017年現在、外務省 JAPAN HOUSE ロサンゼルス エグゼクティブアドバイザー、旅する新虎マーケットアドバイザー、KENPOKU ART 茨城県北芸術祭クリエイティブディレクター等を務める。

※使用している画像はすべてイメージです。※企画名称、演出は9月15日現在の案であり、変更となる場合があります。
※本件については、国土交通記者会・都庁記者クラブ・東京商工会議所記者クラブ・ときわクラブ・丸の内記者クラブ・JR記者クラブ・レジャー記者クラブに同時配布しています。